

堆積層のS波速度構造の推定における Receiver Function の逆解析の適用性の検討

Applicability of receiver function inversions in estimating S wave velocity structure of sedimentary layers

黒瀬 健[1], 山中 浩明[2]

Takeshi Kurose[1], Hiroaki Yamanaka[2]

[1] 東工大・総合理工・環境理工, [2] 東京工大・総理工

[1] Environmental Sci.and Tech.,Tokyo Inst.of Tech., [2] T.I.Tech

近年、堆積層構造の推定のために、Receiver Function を用いて地震基盤面で生じる P S 変換波を検出し、直達 P 波との到達時間差を求めるという手法による研究が行われている。しかし Receiver Function は本来、基盤面で生じる P S 変換波だけでなく、多重反射・変成波に関する多くの情報を含んでいるものである。実際、地殻や上部マントルの構造の推定においては、Receiver Function の逆解析も行われている。そこで本研究では、数値実験と実際の地震記録の解析の両面から、地殻表層の堆積層の S 波速度構造の推定における Receiver Function の逆解析の適用性を検討する。